

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年1月29日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社シーボン
 コード番号 4926 URL <http://www.cbon.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日

(氏名) 金子 靖代
 (氏名) 諏佐 貴紀

TEL 044-979-1234

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	11,138		877		891		550	
21年3月期第3四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第3四半期	129.69	
21年3月期第3四半期		

(注) 当社は、第3四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、21年3月期第3四半期の実績及び増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第3四半期	10,469	8,133	77.7	1,917.04
21年3月期	10,366	7,785	75.1	18,350.15

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 8,133百万円 21年3月期 7,785百万円

(注) 21年3月期の1株当たり純資産につきましては、平成21年7月16日を効力発生日とした株式分割を考慮しておりません。詳しくは、3ページ「(参考)株式分割に伴う1株当たり数値の遡及修正」をご覧ください。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期		0.00		350.00	350.00
22年3月期		20.00			
22年3月期(予想)				35.00	55.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注) 21年3月期の1株当たり配当金につきましては、平成21年7月16日を効力発生日とした株式分割を考慮しておりません。詳しくは、3ページ「(参考)株式分割に伴う1株当たり数値の遡及修正」をご覧ください。

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	14,654	2.4	1,258	5.1	1,273	2.3	646	21.2	152.27

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、5ページ「定性的情報・財務諸表等」4.その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無
以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	4,243,000株	21年3月期	424,300株
期末自己株式数	22年3月期第3四半期	60株	21年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	4,242,995株	21年3月期第3四半期	株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、5ページの「3.業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 株式分割に伴う1株当たり数値の遡及修正

当社は、平成21年7月16日を効力発生日として普通株式1株につき10株の割合で株式分割を実施しております。当該株式分割が前期首(平成20年4月1日)に行われたと仮定した場合、平成21年3月期における1株当たりの情報は以下のとおりです。

	1株当たり純資産
21年3月期	円 銭 1,835.02

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
21年3月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 35.00	円 銭 35.00

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、本書提出日現在において当社が判断したものであります。

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、世界的な金融不安等の影響が実体経済に波及し、一部輸出の増加を受け、生産に持ち直しの兆しが見られるものの、企業収益の悪化に伴う設備投資の抑制や雇用情勢及び所得環境の厳しさが続き、個人消費が低迷している事により、依然として先行き不透明感を払拭できない状態が続いております。

化粧品市場においては、個人消費の低迷が続いている中で、異業種の参入等により競争が激化しており、厳しい事業環境が続いております。当社の主力製品でありますスキンケア製品市場においても、経済産業省の化粧品統計表（平成21年4月から平成21年11月まで）によりますと、販売金額において前年同期比で減少する結果となっております。これは、消費者の価格志向の変化により低価格帯へと変化した結果となっており、化粧品市場にとって厳しい状況が続いております。

こうした経営環境の中、当社は創業以来、化粧品を販売するだけでなく「お客様に美しくなることを提供し、その結果に最後まで責任を持つ」という理念に基づき、「お客様の美を創造し演出する会社」として、化粧品の研究・開発、製造から販売、アフターサービスに至るまでの製販サービス一体の事業展開を行い、化粧品にアフターサービスという独自の付加価値をつけることにより、他メーカーとの差別化を図っております。

当第3四半期累計期間は、9月に調布店、11月に新百合ヶ丘店、12月に三宮店の3店舗を新たに出店いたしました。また、4月にホワイトシリーズの期間限定セットを発売し、5月には夏季限定スペシャルセットSPA BAを発売、10月には高級エイジングケアシリーズであるコンセントレートシリーズ（化粧水、クリーム、美容液、美容液パック）をリニューアル発売、11月には同シリーズの期間限定スペシャルセットSPA CONCENTRATEを発売いたしました。それらの要因が売上の拡大に貢献した結果、当第3四半期累計期間の売上高は11,138,511千円と順調に推移いたしました。経常利益は、集客強化による予約センターの増員による人件費の増加や集客イベントを積極的に行った事による集客コストの増加、受取家賃及び上場費用等の発生により891,062千円となりました。四半期純利益は、投資有価証券の売却益等により550,272千円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は10,469,110千円となり、前事業年度末に比べて102,650千円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金の増加（前事業年度末比262,128千円増）、受取手形及び売掛金の減少（前事業年度末比110,361千円減）、仕掛品の減少（前事業年度末比32,501千円減）によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債総額は2,335,238千円となり、前事業年度末に比べて245,250千円減少いたしました。その主な要因は、未払法人税等の減少（前事業年度末比248,437千円減）、ポイント引当金の増加（前事業年度末比127,320千円増）、長期借入金の減少（前事業年度末比105,000千円減）によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は8,133,871千円となり、前事業年度末に比べて347,900千円増加いたしました。その主な要因は、利益剰余金の増加（前事業年度末比316,907千円増）によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ262,128千円増加し、当第3四半期累計期間末には2,683,621千円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は678,544千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益893,172千円、減価償却費233,830千円、売上債権の減少110,361千円、ポイント引当金の増加127,320千円、法人税等の支払645,204千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は81,809千円となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入68,973千円、有形固定資産の取得による支出137,256千円、敷金及び保証金の差入による支出25,952千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は334,607千円となりました。これは、配当金の支払229,530千円、長期借入金の返済による支出105,000千円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年9月11日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. たな卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,683,621	2,421,493
受取手形及び売掛金	1,121,162	1,231,523
商品及び製品	293,593	288,415
仕掛品	90,862	123,363
原材料及び貯蔵品	349,326	367,793
その他	475,565	396,540
貸倒引当金	1,081	1,187
流動資産合計	5,013,051	4,827,942
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,127,559	2,197,229
土地	1,376,454	1,376,454
その他(純額)	437,269	442,087
有形固定資産合計	3,941,282	4,015,770
無形固定資産		
	110,675	106,109
投資その他の資産		
その他	1,407,417	1,423,243
貸倒引当金	3,315	6,607
投資その他の資産合計	1,404,101	1,416,636
固定資産合計	5,456,059	5,538,516
資産合計	10,469,110	10,366,459
負債の部		
流動負債		
買掛金	113,506	190,247
1年内返済予定の長期借入金	210,000	210,000
未払法人税等	109,061	357,498
ポイント引当金	537,610	410,290
役員賞与引当金	17,850	17,550
賞与引当金	5,871	19,417
その他	1,129,903	1,058,987
流動負債合計	2,123,802	2,263,991
固定負債		
長期借入金	-	105,000
その他	211,436	211,497
固定負債合計	211,436	316,497
負債合計	2,335,238	2,580,488

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	449,547	449,547
資本剰余金	333,447	333,447
利益剰余金	7,355,240	7,038,332
自己株式	77	-
株主資本合計	8,138,157	7,821,327
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,286	35,356
評価・換算差額等合計	4,286	35,356
純資産合計	8,133,871	7,785,970
負債純資産合計	10,469,110	10,366,459

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	11,138,511
売上原価	2,207,801
売上総利益	8,930,709
販売費及び一般管理費	
従業員給料	3,386,712
その他	4,666,095
販売費及び一般管理費合計	8,052,807
営業利益	877,902
営業外収益	
受取利息	2,303
受取配当金	6,746
受取家賃	39,415
その他	3,390
営業外収益合計	51,855
営業外費用	
支払利息	3,618
株式公開費用	32,134
その他	2,941
営業外費用合計	38,694
経常利益	891,062
特別利益	
投資有価証券売却益	20,321
その他	3,539
特別利益合計	23,860
特別損失	
固定資産除却損	15,739
投資有価証券売却損	1,813
減損損失	4,197
特別損失合計	21,750
税引前四半期純利益	893,172
法人税、住民税及び事業税	398,023
法人税等調整額	55,123
法人税等合計	342,900
四半期純利益	550,272

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	893,172
減価償却費	233,830
減損損失	4,197
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,398
役員賞与引当金の増減額(は減少)	300
賞与引当金の増減額(は減少)	13,546
ポイント引当金の増減額(は減少)	127,320
受取利息及び受取配当金	9,049
支払利息	3,618
固定資産除却損	9,649
投資有価証券売却損益(は益)	18,508
売上債権の増減額(は増加)	110,361
たな卸資産の増減額(は増加)	45,790
仕入債務の増減額(は減少)	76,741
その他	9,357
小計	1,316,355
利息及び配当金の受取額	10,137
利息の支払額	2,744
法人税等の支払額	645,204
営業活動によるキャッシュ・フロー	678,544
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	137,256
投資有価証券の売却による収入	68,973
敷金及び保証金の差入による支出	25,952
敷金及び保証金の回収による収入	23,255
その他	10,829
投資活動によるキャッシュ・フロー	81,809
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	105,000
自己株式の取得による支出	77
配当金の支払額	229,530
財務活動によるキャッシュ・フロー	334,607
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	262,128
現金及び現金同等物の期首残高	2,421,493
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,683,621

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

当第3四半期累計期間が四半期財務諸表作成初年度であるため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

(1) 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

区分		当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
スキンケア	ベーシック(千円)	4,300,556
	スペシャル(千円)	8,920,885
メイクアップ(千円)		177,682
その他(千円)		29,116
合計(千円)		13,428,240

(注) 1. 上記金額は、販売単価によっております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 上記区分ベーシック及びスペシャルの品目構成は、以下のとおりです。

ベーシック：洗顔料・クレンジング・化粧水・乳液等の基礎化粧品

スペシャル：美容液・クリーム・パック等の化粧品

(2) 仕入実績

当第3四半期累計期間における仕入実績は、次のとおりであります。

区分	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
商品仕入(千円)	47,284
原材料仕入(千円)	908,560
合計(千円)	955,844

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

当社は受注生産を行っておりませんので、該当事項はありません。

(4) 販売実績

当第3四半期累計期間の販売実績は、次のとおりであります。

区分		当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	
製品	スキンケア	ベーシック(千円)	3,231,444
		スペシャル(千円)	7,533,267
	メイクアップ(千円)	120,025	
	その他(千円)	19,663	
	小計(千円)	10,904,401	
商品	美容関係器具・小物(千円)	30,280	
	その他(千円)	60,854	
	小計(千円)	91,135	
その他(千円)		142,974	
合計(千円)		11,138,511	

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 上記区分ベーシック及びスペシャルの品目構成は、以下のとおりです。

ベーシック：洗顔料・クレンジング・化粧水・乳液等の基礎化粧品

スペシャル：美容液・クリーム・パック等の化粧品

3. 当第3四半期累計期間の主要な販路及び販路別売上高及び割合は、次のとおりであります。

販路別	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)
直営店舗	10,834,369	97.3
通信販売	120,565	1.1
国内代理店	154,930	1.4
海外代理店	28,645	0.2
合計(千円)	11,138,511	100.0